

1名、民間企業2名でした。分子研OB・OGからの紹介による参加者に加え、分子研に併設されている総研大二専攻の大学院受験を念頭に、研究室訪問をしている参加者が多くみられました。実際、構造分子科学専攻ならびに機能分子科学専攻では、5年一貫博士課程の受験者数が増加

し続けています。自由に研究室を訪問・見学でき、指導教員やグループメンバーと歓談できる本事業は、分子研に併設されている総研大二専攻への入学を考えている学生にとって、大変有意義な機会になっているように思います。

最後に、お忙しいところ、分子研

をわかりやすく説明してくださいました岡本総主幹、総研大の説明に研究所でのご経験を交え熱心にお話しくださいました平本先生、研究室紹介をしてくださいました先生方、本事業にご協力くださいました関係者の皆様に、この場をお借りいたしまして、深く御礼申し上げます。

平成30年度3月総合研究大学院大学修了学生及び学位論文名

専攻	氏名	博士論文名	付記する専攻分野	授与年月日
構造分子科学	深津 亜里紗	Studies on Electrochemical Responses of Molecular Compounds in Homogeneous Solution under Photoirradiation	理学	H30. 3.23
	CHINAPANG, Pondchanok	Design and Construction of Framework Catalysts for Hydrogen Evolution	理学	H30. 3.23
	XU, Qing	Design and Synthesis of Covalent Organic Frameworks for Electrochemical Energy Storage and Conversion	理学	H30. 3.23
機能分子科学	新宅 直人	Effects of charge carrier behavior on device performance of organic solar cells	理学	H30. 3.23

総合研究大学院大学平成30年度(4月入学) 新入生紹介

専攻	氏名	所属	研究テーマ
構造分子科学	ALI, Asad	物質分子科学研究領域	Intercalation of hydride ions in battery systems
	岡本 啓	物質分子科学研究領域	新規ヒドリドイオン導電体の合成、構造、物性
	石見 輝	生命・錯体分子科学研究領域	Controlling self-assembled structure of metal cluster based coordination complexes
	赤井 拓哉	生命・錯体分子科学研究領域	多核金属錯体を触媒とする光化学的多電子還元
	石原 芽衣	生命・錯体分子科学研究領域	PCET サイトを有する多核金属錯体の触媒機能評価
	加藤 壮志	生命・錯体分子科学研究領域	自己集合性を有する触媒分子の開発と反応の可視化
	友田 美紗	生命・錯体分子科学研究領域	プロトン内包型5核金属錯体の研究
	藤澤 真由	生命・錯体分子科学研究領域	多核ユニットを含むフレームワークの構築
	鍋井 庸次	協奏分子システム研究センター	有機物を用いたスピントロニクス
	山田 寛子	生命創成探求センター	ATP 結合ポケットを持つ新規タンパク質のデザイン
機能分子科学	菅原 湧斗	生命・錯体分子科学研究領域	ヨウ化ペルフルオロアリアル骨格を有するオリゴマー型ハロゲン結合供与体触媒の合成
	谷 和紀	生命・錯体分子科学研究領域	固相担持単原子遷移金属触媒の創製と触媒的有機分子変換への応用
	堀 達暁	生命・錯体分子科学研究領域	ハロゲン結合を鍵とする高分子固定化求核触媒の開発
	関口 太一郎	生命創成探求センター	蛋白質超分子複合体のアッセンブリー機構の解明